

算数科学習指導案（4年生）

展開（10／15時間）

ねらい：ひし形のもつ性質について理解し、説明することができる。

準備	教師：タブレットPC、モニター 児童：タブレットPC ロイロノート（学習支援ソフト）	
時間	資質・能力を育成するための学習活動 ○予想される児童の反応（意識）	資質・能力を育成するための指導上の留意点 目的 ○手立て、配慮事項 ◇評価
5分	<学習課題の把握> 1 前時の学習の振り返りを行うとともに、本時の課題を把握する。 問題 右のような四角形をかいて、特ちょうを調べましょう。  T：右のような四角形をひし形といいます。これまで学習した図形と比べて、どんな特徴がありそうですか。 ○平行四辺形みたいになっているかな。 ○辺の長さが同じに見える。 2 めあてを把握する。 ひし形について調べよう。	問題意識をもって本時の課題を把握するために ○前時の学習内容を振り返り、平行四辺形の性質について振り返る。 児童が見通しをもって、課題に取り組むために ○平行四辺形とひし形を比較し、違いについて考えさせる。
30分	<課題の追究> 3 ひし形を作図し、性質について考える。 T：ロイロノートでひし形のかき方をみて、ひし形をノートにかいてみましょう。  ロイロノートで作図方法を共有し、一人一人ノートにかく。 T：ひし形のかき方には、どんな特ちょうがありましたか。 ○コンパスを使ってかいたから、辺の長さが全部同じだ。 ○平行四辺形のかき方とほとんど同じだ。 T：ひし形の辺や角にはどんな特徴があるか調べて、ロイロノートにまとめましょう。 ○向かい合った辺がそれぞれ平行になっている。 ○向かい合った角の大きさも同じになっている。 ○辺の長さがやっぱり全部同じになっている。 ○ひし形は平行四辺形なのかな。 ロイロノートで気付いた特徴についてまとめ、全体で共有する。 T：友達の考えを見て、自分と比べてみましょう。	ひし形の性質について、操作の中で気付かせるために ○児童一人一人がタブレットを使ってひし形を作図方法を動画で確認しながら作図させる。 ○作図をする際にコンパスを使ったことに着目させて、辺の長さの特徴について考えさせる。 ○平行四辺形のかき方を想起・比較させ、特徴について考えさせる。 ○できたひし形をもとに、辺の長さや角度を測り、それぞれの関係について調べ、ロイロノートにまとめさせる。その後共有させる。 ○うまく作図できなかった児童に向けてロイロノートを使い、ひし形を配り調べさせる。 ◇評価 ひし形の性質について説明している。 <ロイロノート・発言> 【思考・判断・表現】
10分	<まとめ> 4 本時のまとめをする。 ひし形の特ちょう ○向かい合った辺がそれぞれ平行になる。 ○向かい合った角の大きさが同じになる。 (平行四辺形と同じ特ちょうがある) ○全ての辺の長さが等しい。 T：今日学習したことを使って、練習問題を解きましょう。	ひし形の性質を理解させるために ○ロイロノートで共有したことをもとに、まとめさせる。 ○適用問題を解き、ふりかえりを行う。